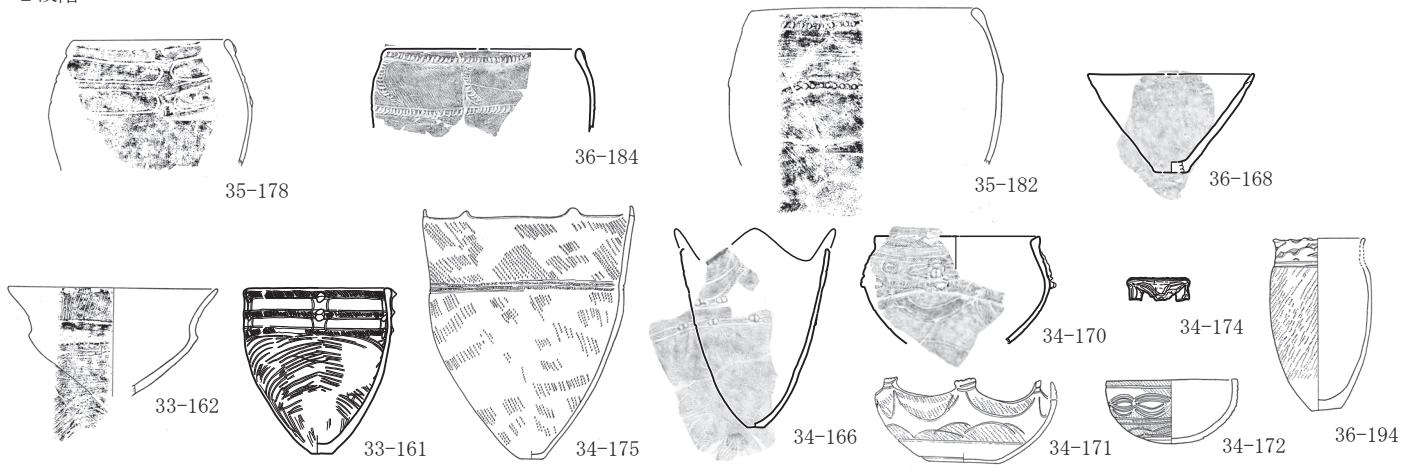
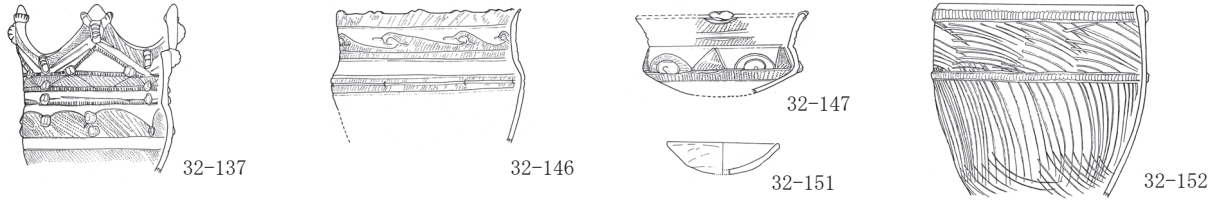


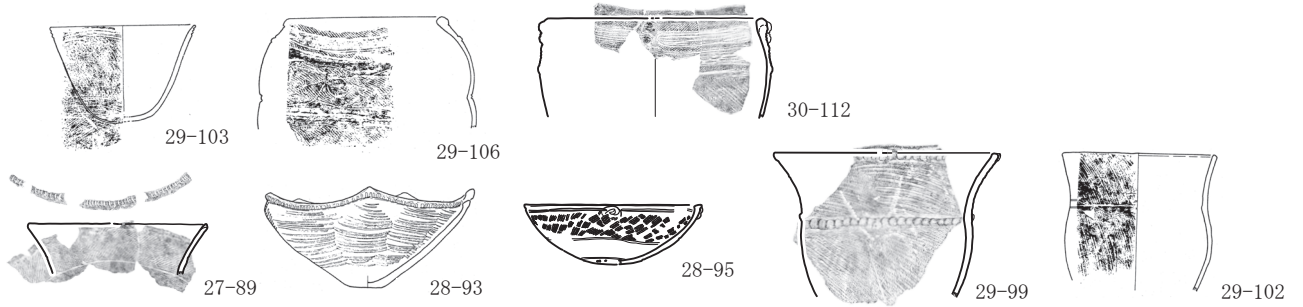
IV-2 段階



IV-1 段階



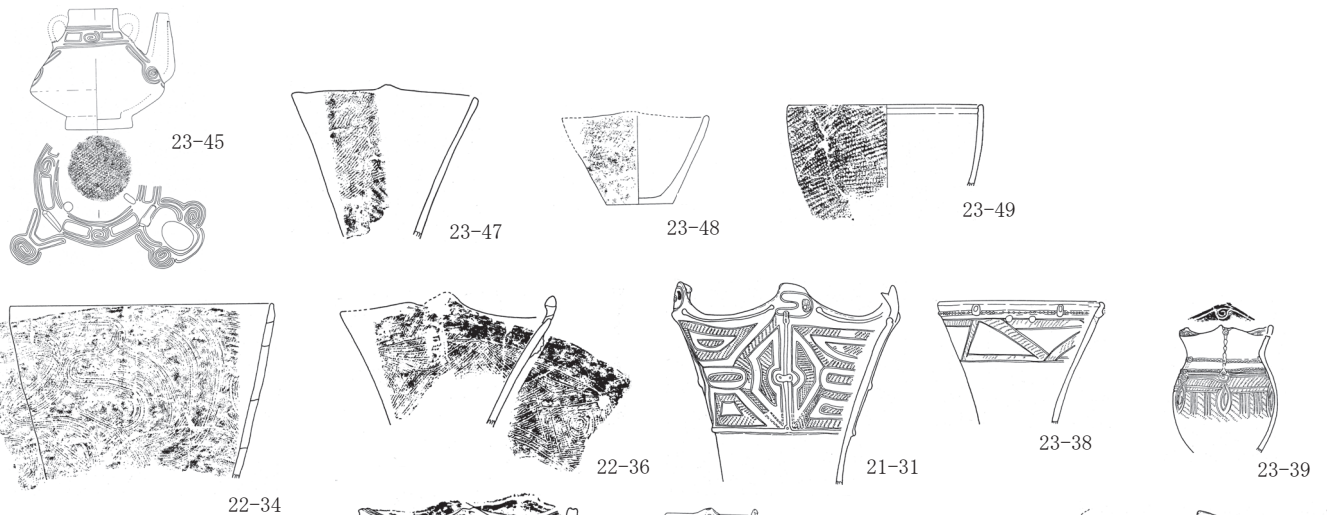
III 段階



II 段階



I-2 段階



I-1 段階



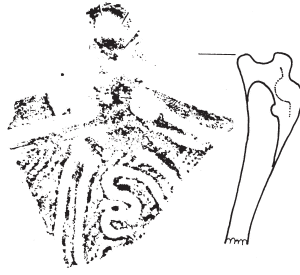
第18図 第1次調査段階別主要土器

S=1/10

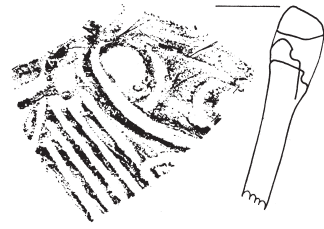
I - 1 段階①



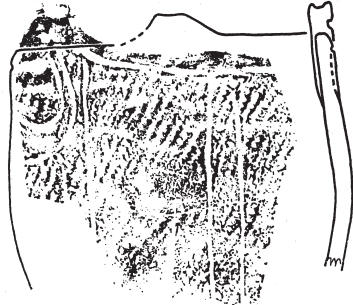
1 (C64 5層)



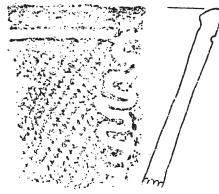
2 (D35 6層)



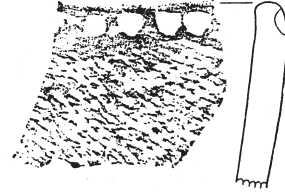
3 (A48 4層)



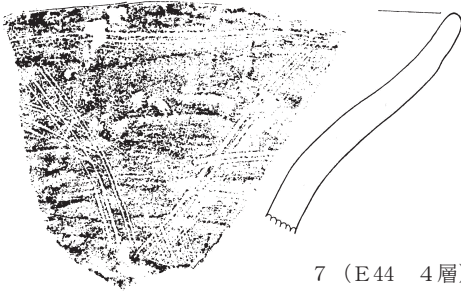
4 (D54 4層)



5 (C64 5層)



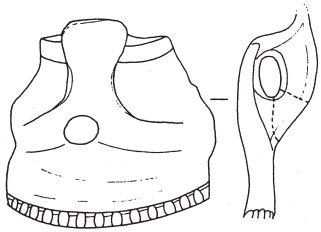
6 (A49 5層)



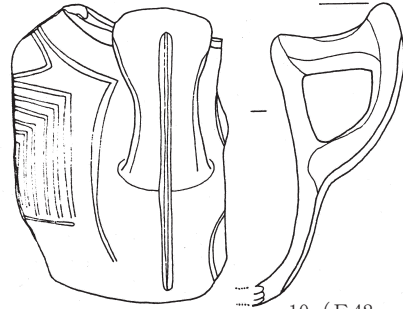
7 (E44 4層)



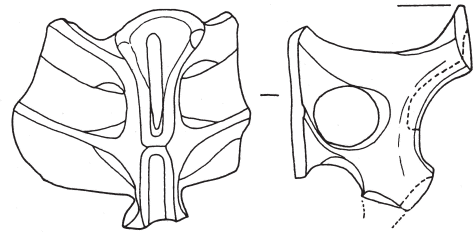
8 (D95 3層)



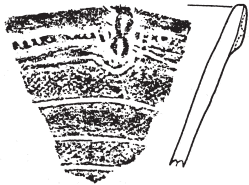
9 (A19 5層)



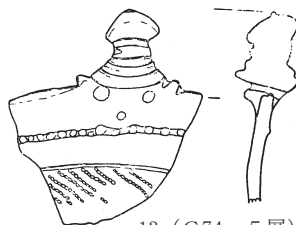
10 (E42 4層)



11 (E42 4層)



12 (D90 6層)



13 (C74 5層)



14 (D75 3層)

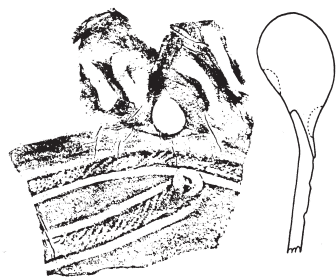
(No. 4)

0 (1:4) 10cm

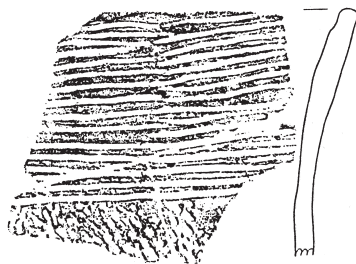
0 (1:3) 10cm

第19図 第1次調査出土土器 (1)

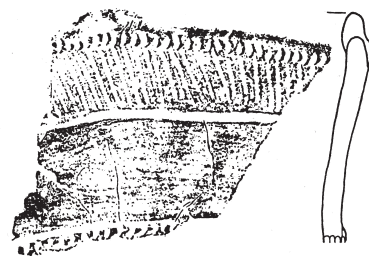
I - 1 段階②



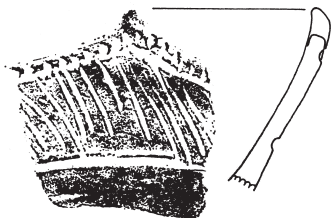
15 (D75 3層)



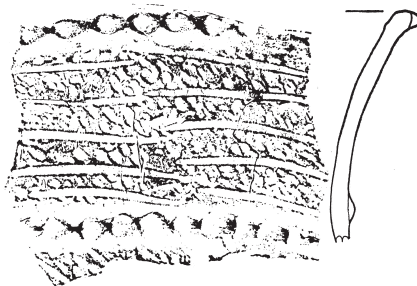
16 (D35 6層)



17 (D55 3層)



18 (D45 4層)



19 (D80 6層)



20 (D55 3層)

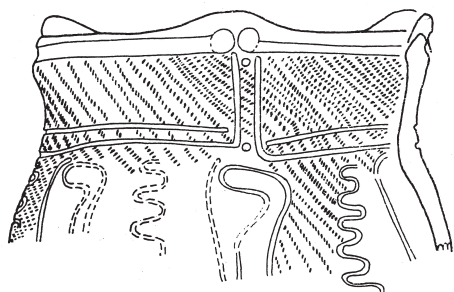


21 (D35 6層)

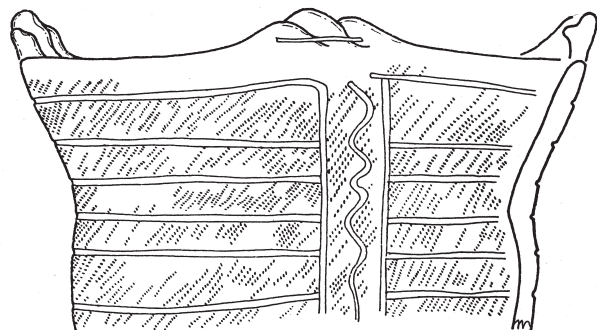


22 (D35 6層)

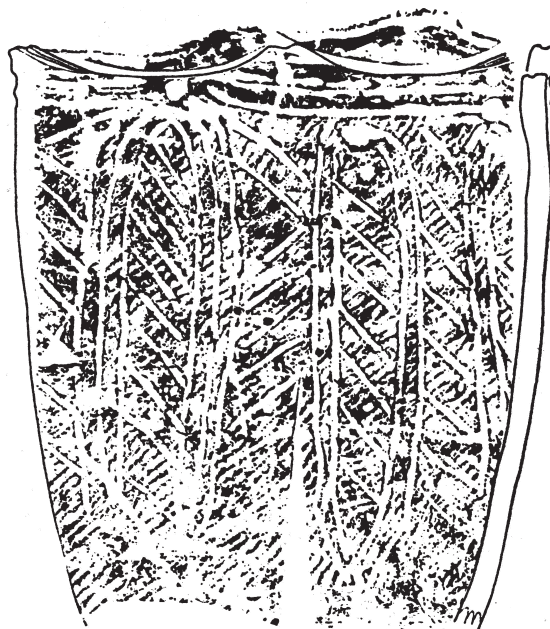
I - 2 段階①



23 (A25 5層)



24 (A05 5層)



25 (A04 4層)

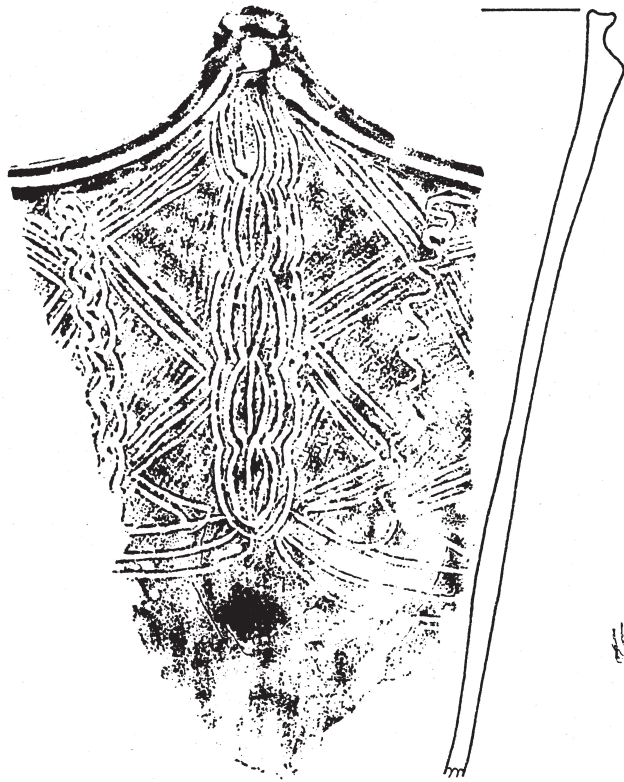
(No.23~25)

0 (1:4) 10cm

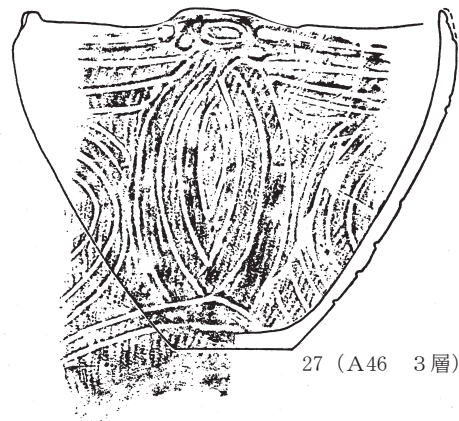
0 (1:3) 10cm

第20図 第1次調査出土土器(2)

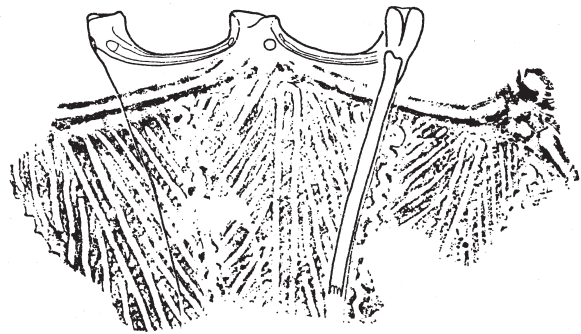
I - 2 段階②



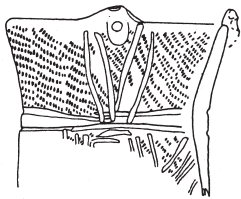
26 (A35 13層)



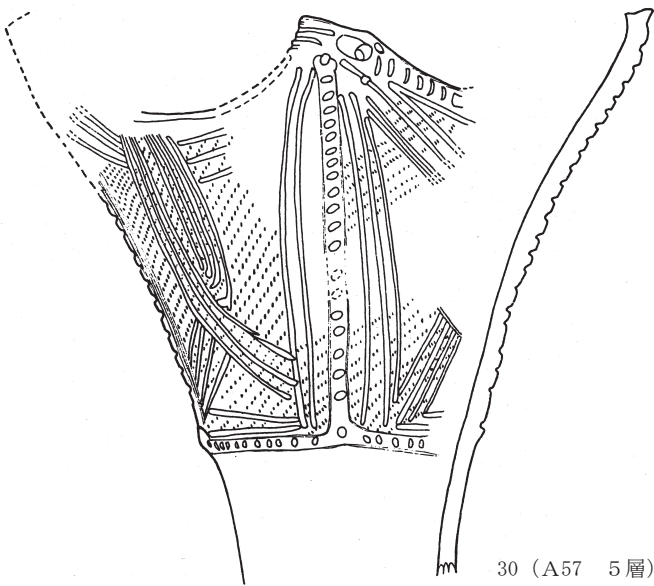
27 (A46 3層)



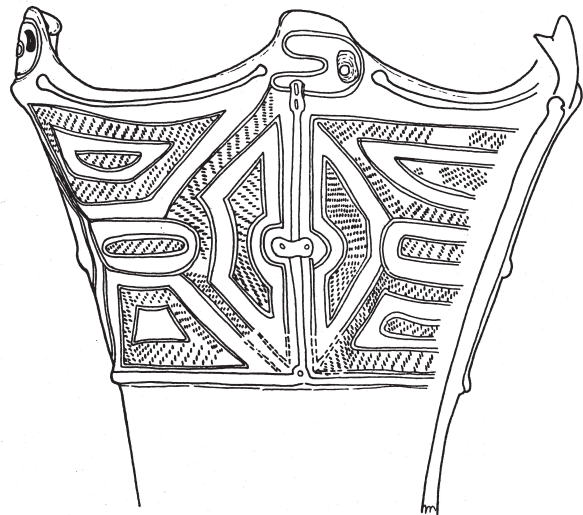
28 (A17 4・6層)



29 (E50 2・4層)



30 (A57 5層)



31 (A64 2層)

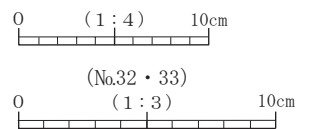
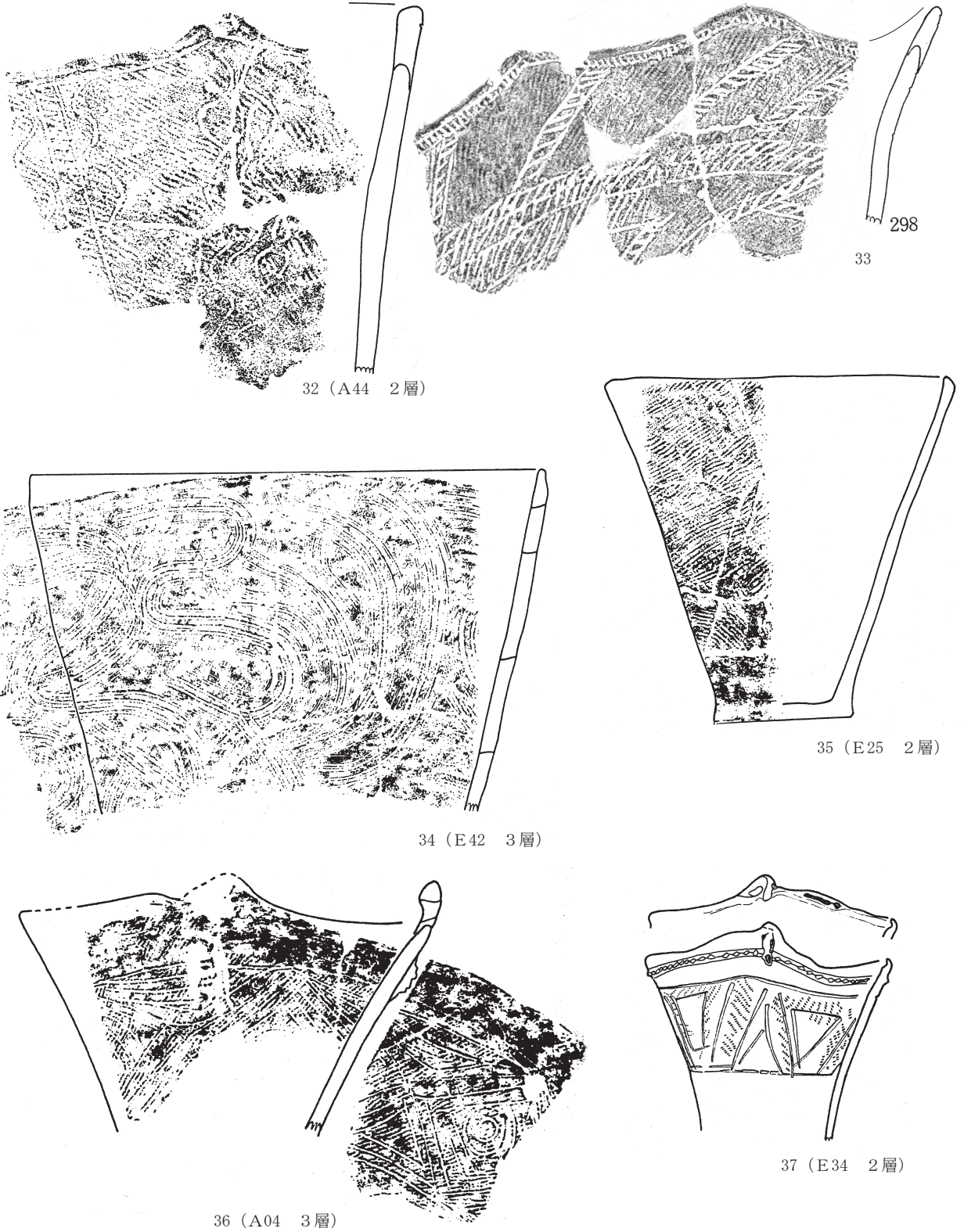
0 (1:4) 10cm

(No.26)

0 (1:3) 10cm

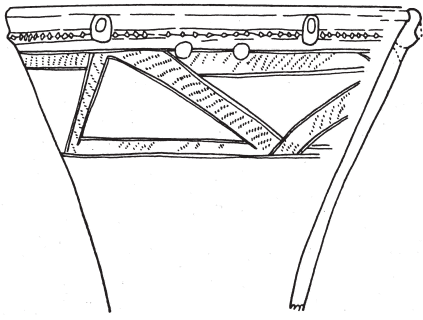
第21図 第1次調査出土土器(3)

I - 2 段階③



第22図 第1次調査出土土器(4)

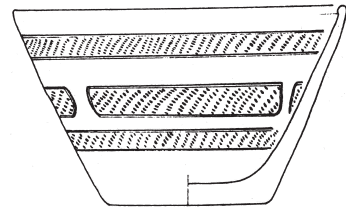
I - 2 段階④



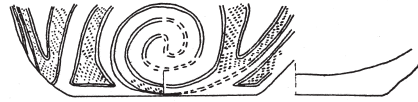
38 (E15 2層)



39 (E15 2層)



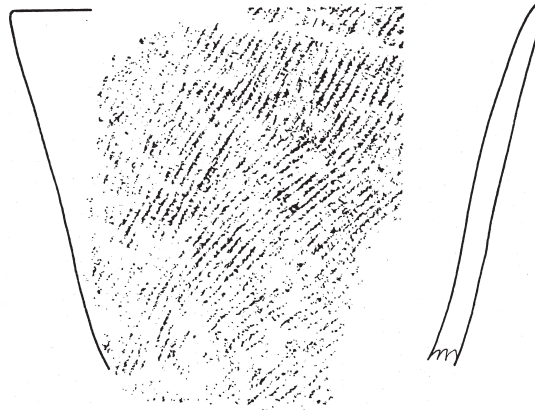
40 (E25 1層)



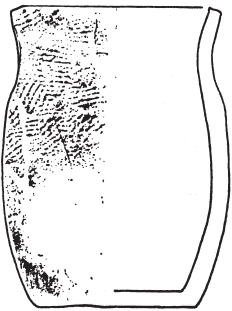
41 (E34 2層)



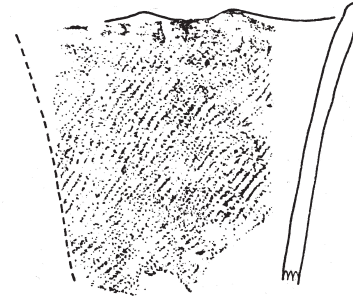
42
(B38 4層)
(E50 2層)



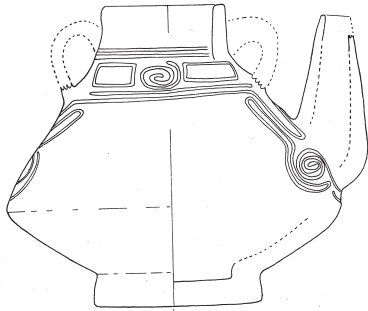
43 (E25 2層)



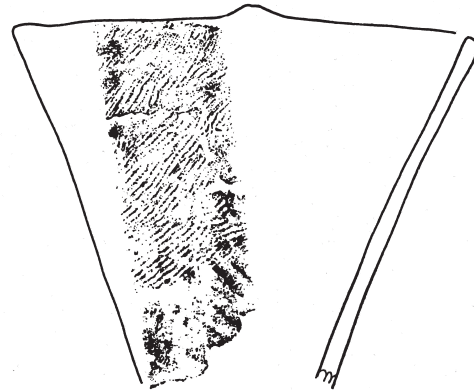
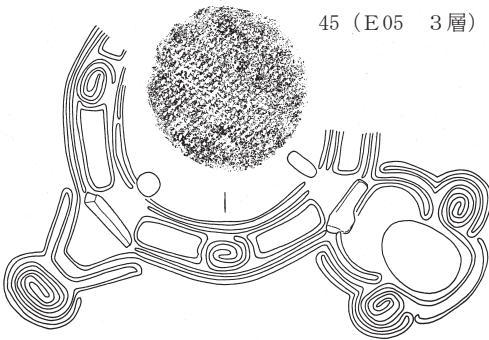
44 (E25 2層)



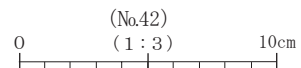
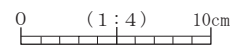
46 (A17 4・6層)



45 (E05 3層)

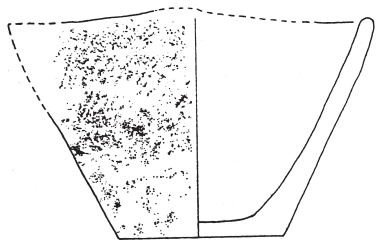


47 (A18 4層)

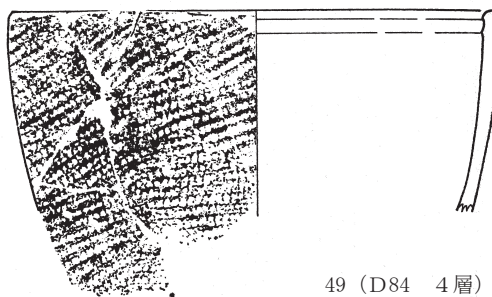


第23図 第1次調査出土土器 (5)

I - 2 段階⑤



48 (A48 2層)



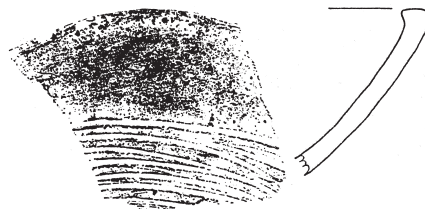
49 (D84 4層)



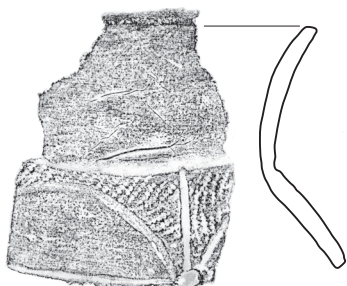
50 (E04 2層)



51 (E04 2層)



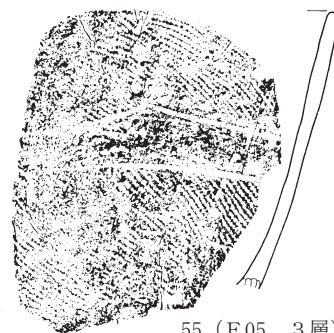
52 (A46 3層)



53 (D41/D44 5層)



54 (A06 5層)



55 (E05 3層)

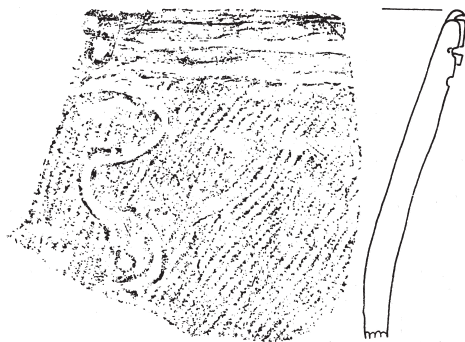


56 (A44 2層)

II 段階①



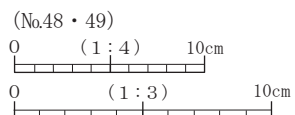
57 (E10 2層)



58 (A08 5層)



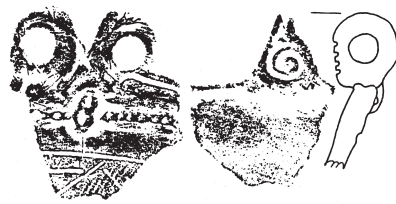
59 (C94 4層)



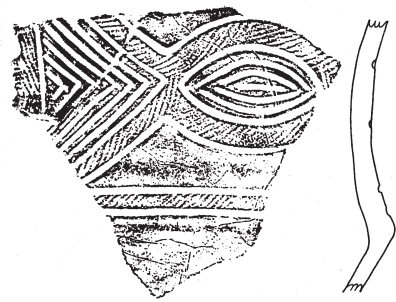
II 段階②



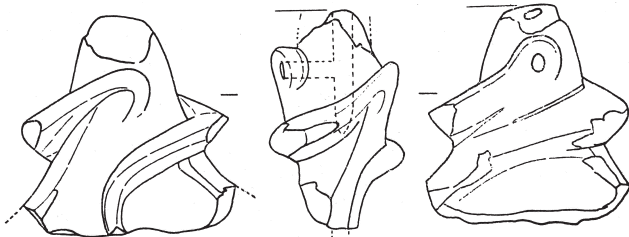
60 (D80 5層)



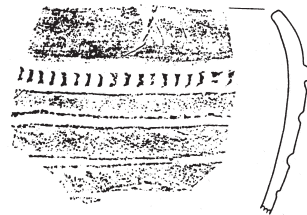
61 (E10 2層)



62 (E10 2層)



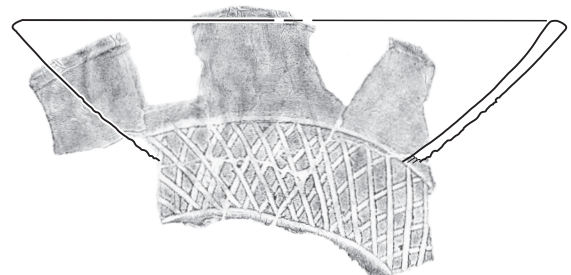
63 (E20 2層)



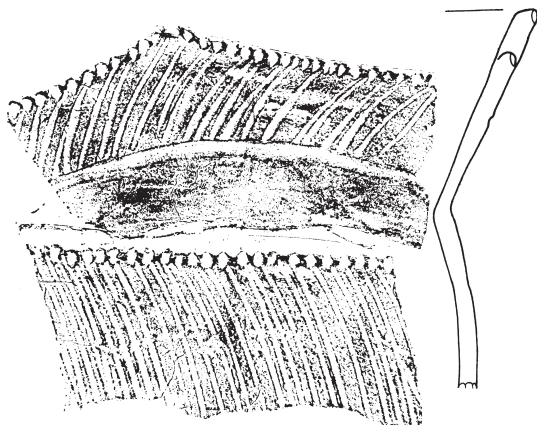
64 (A08 4層)



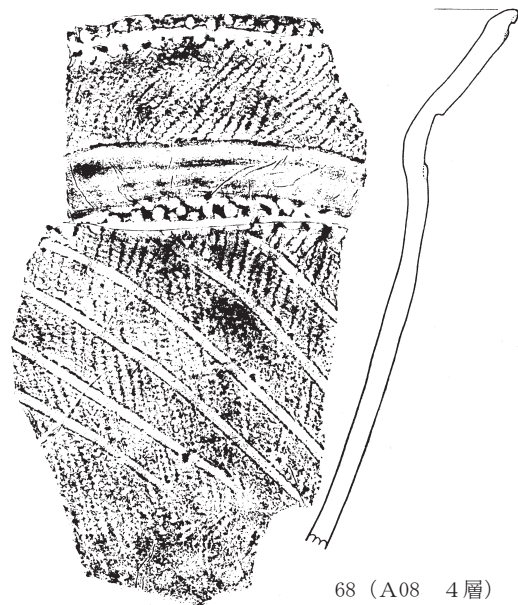
65 (A08 4層)



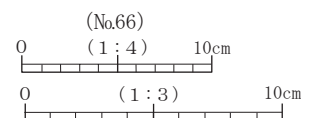
66 (C95 4層)



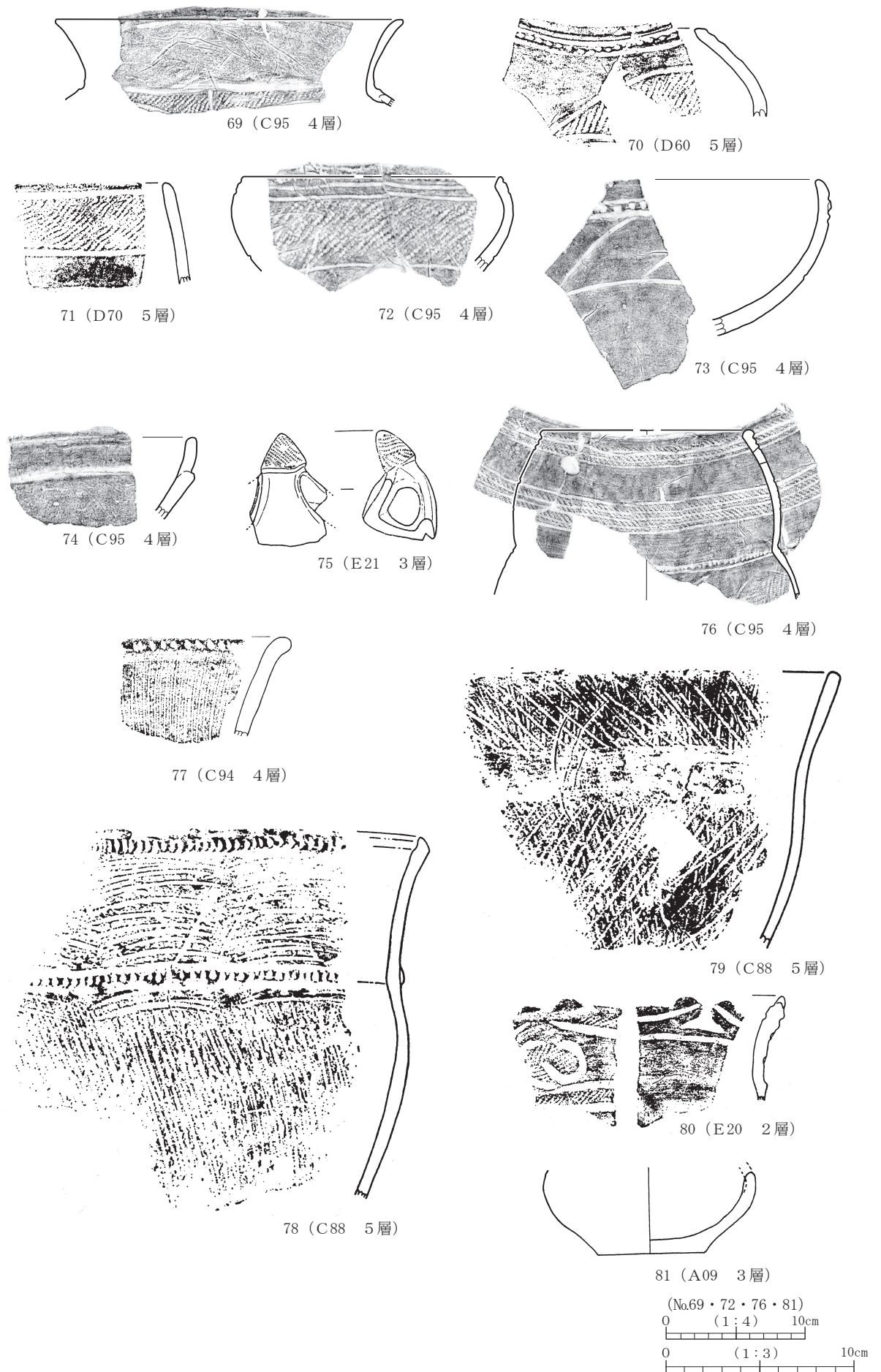
67 (D70 5層)



68 (A08 4層)

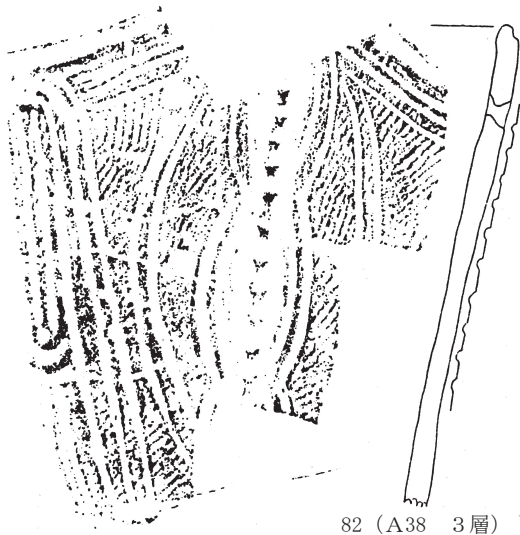


II 段階③

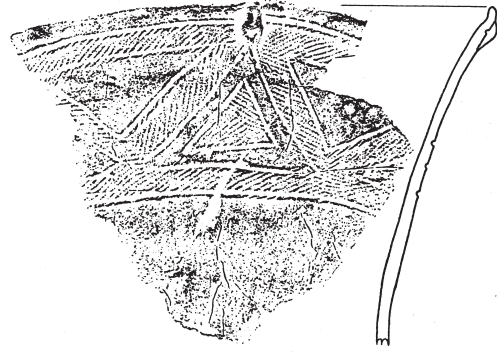


第26図 第1次調査出土土器 (8)

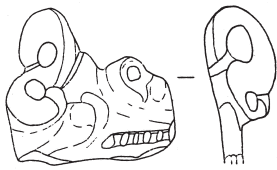
Ⅲ段階①



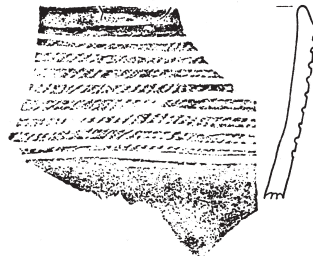
82 (A38 3層)



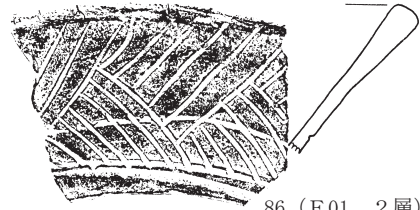
83 (E02 3層)



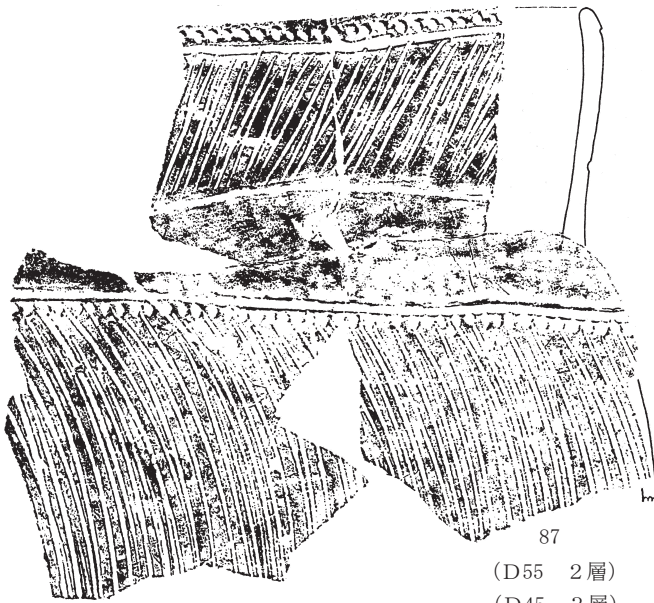
84 (D53 2層)



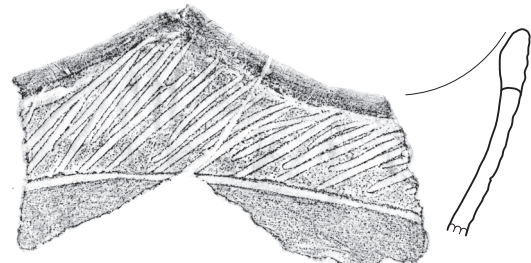
85 (D55 2層)



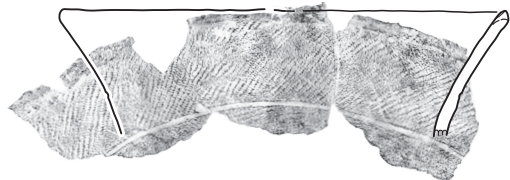
86 (E01 2層)



87
(D55 2層)
(D45 3層)



88 (D44 2層)



89 (C96 3・5層)

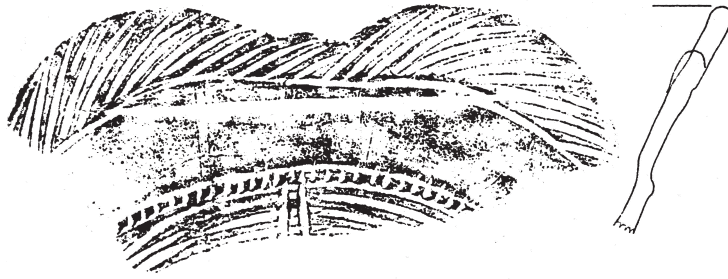
(No.89)

0 (1:4) 10cm

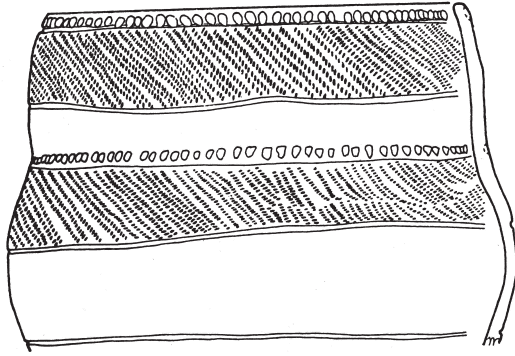
0 (1:3) 10cm

第27図 第1次調査出土土器(9)

Ⅲ段階②



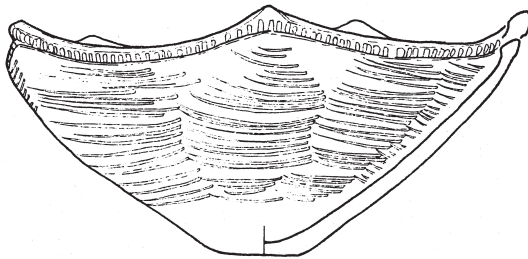
90 (D90 4層)



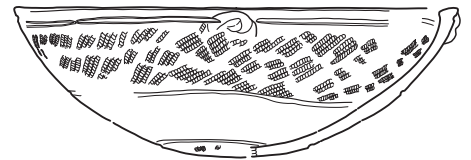
91 (D65 2層)



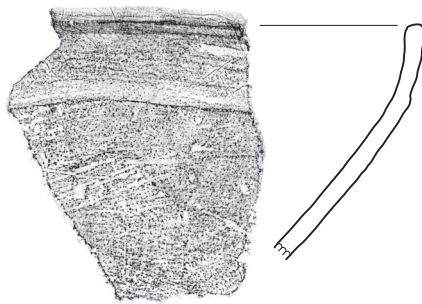
92 (C96 不明層・3層)



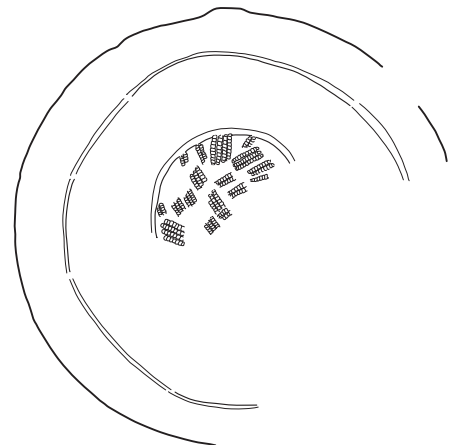
93 (C96 4・5層)



95 (C96 3・4・5層)



94 (D44 2層)

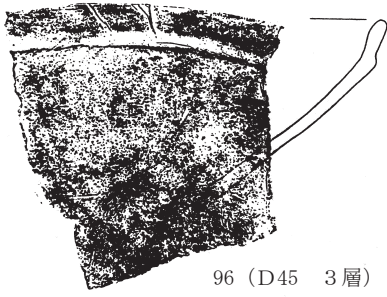


0 (1:4) 10cm

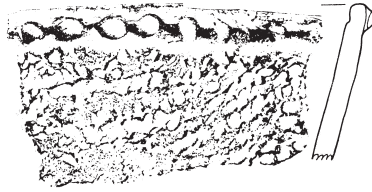
(No.90・92・94)
0 (1:3) 10cm

第28図 第1次調査出土土器 (10)

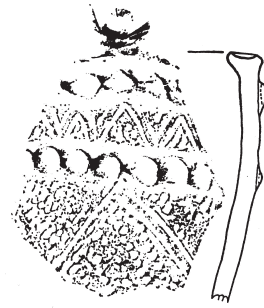
Ⅲ段階③



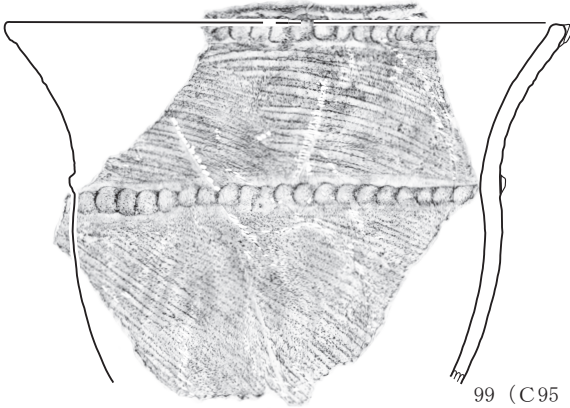
96 (D45 3層)



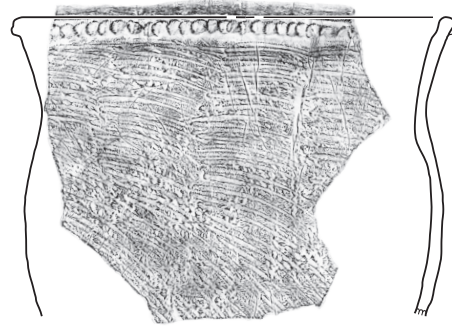
97 (D80 3層)



98 (D55 2層)



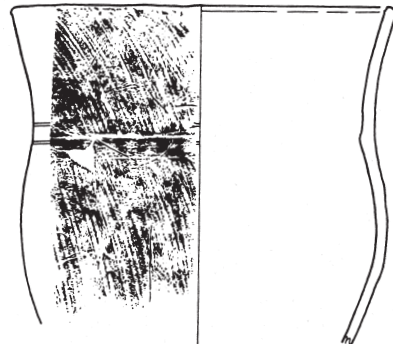
99 (C95 3層)



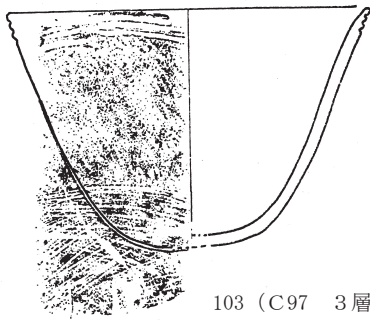
100 (C79 4層)



101 (A17 4層・3層)



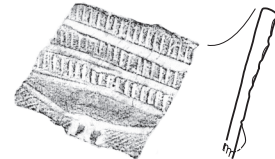
102 (D60 4層)



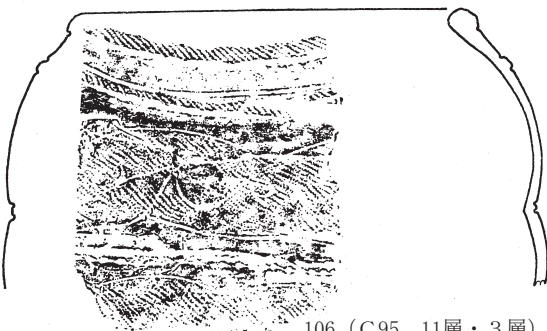
103 (C97 3層)



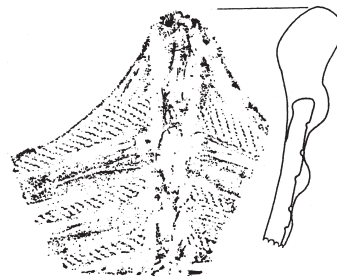
104 (A04 2層)



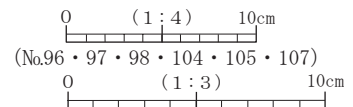
105 (C94 3層)



106 (C95 11層・3層)

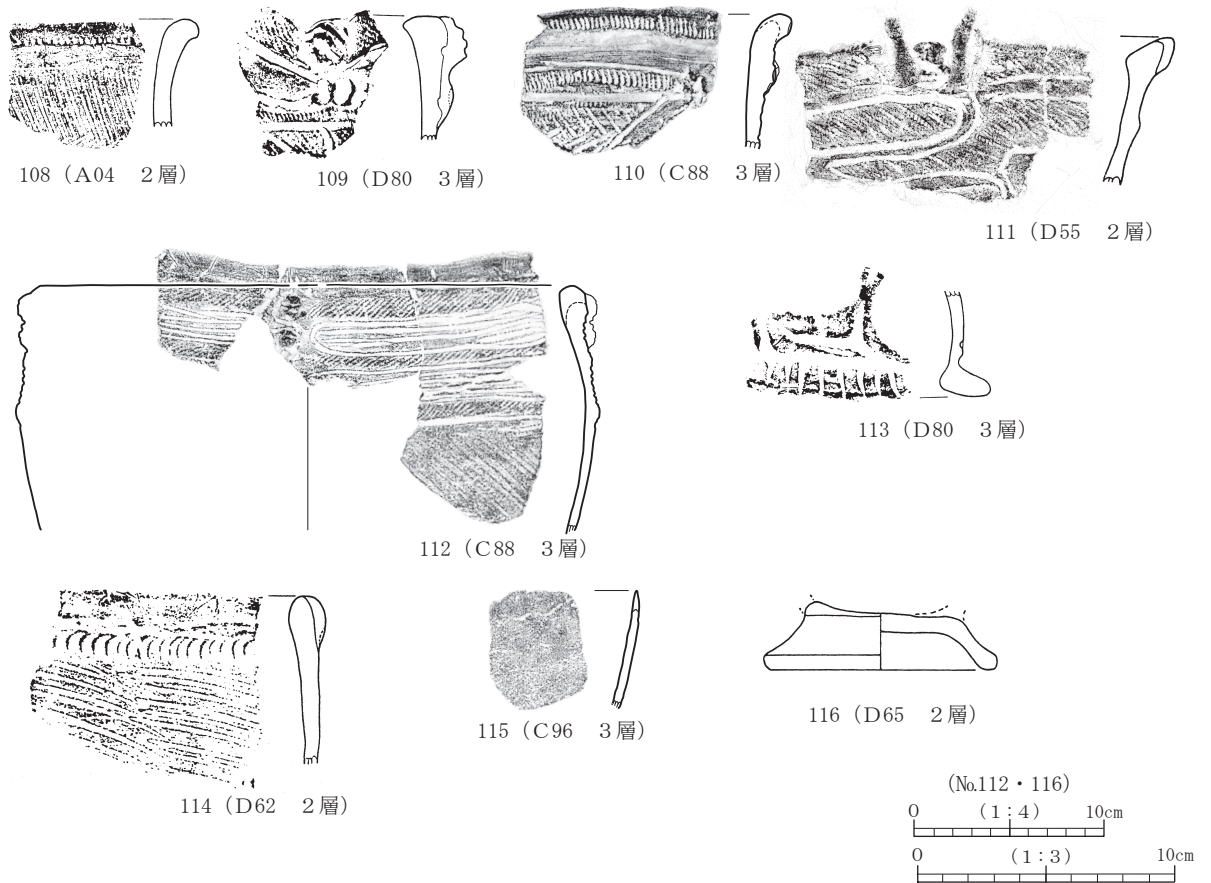


107 (D45 2層)



第29図 第1次調査出土土器 (11)

Ⅲ段階④



第30図 第1次調査出土土器 (12)

これら平面及び断面分布を合わせて考えると、後期前葉から後葉にかけては貝を含む土層を貝塚の内側から外側の斜面部へ向けて廃棄し、晩期になるとローム質黄褐色土層を含む土層をさらに斜面側へ廃棄していることになる。

出土遺物 (第18～38図)

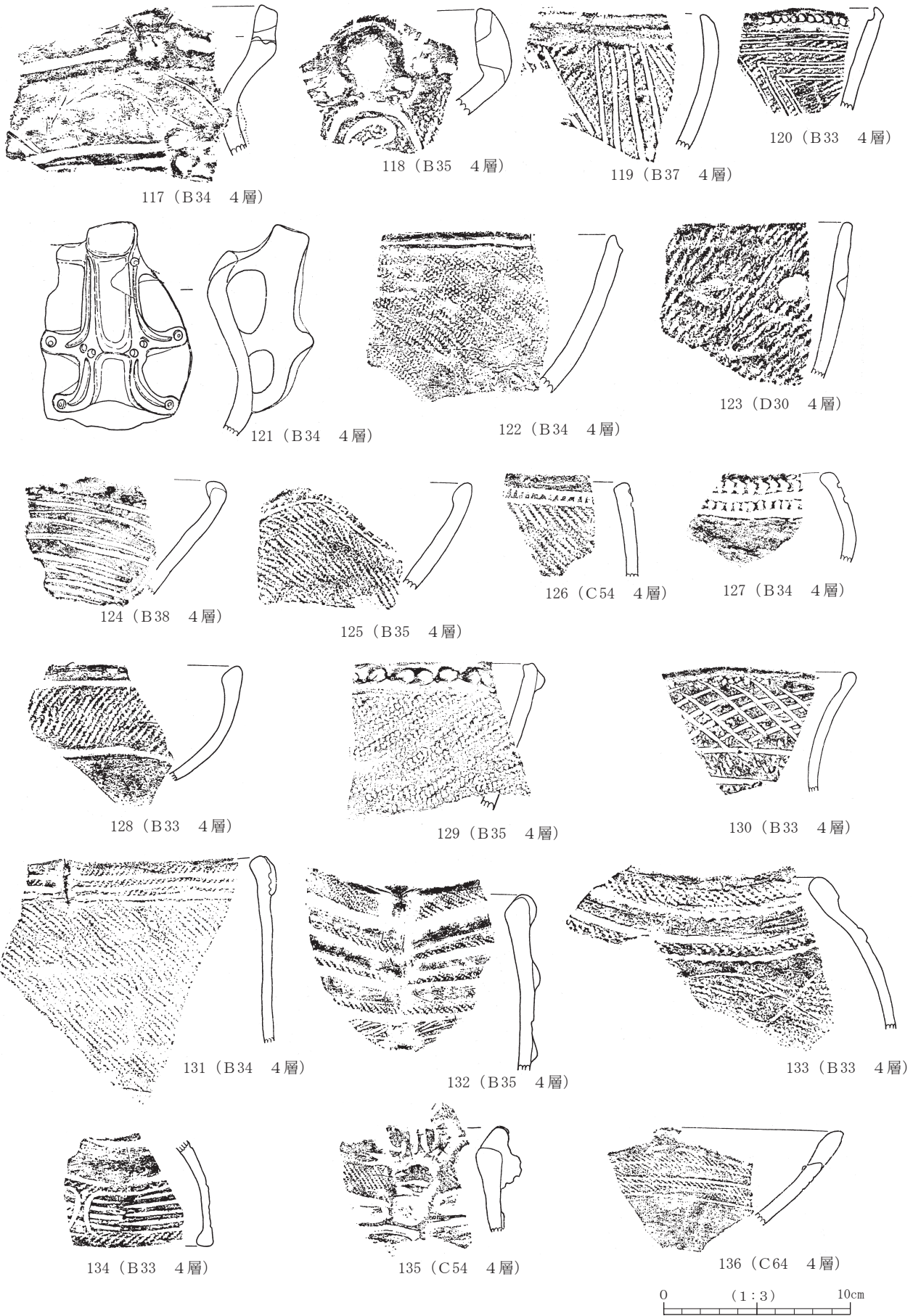
第18図は前述した段階別に主要な土器を配置した図である。第19図～第38図は、それらを含めて段階ごとに抽出した土器を掲載した。ここでは出土土器の時期的な概略を述べることにし、個別の土器の内容については、第3節1及び土器観察表で述べることにしたい。なお、遺物番号に併記した番号はグリッド番号と取り上げ層位である。基本的には第1次調査報告書に掲載された土器の実測図を組み替えて配置したもので、新たに実測・採拓したものを含む。

I-1段階は堀之内1式が大部分を占める。ただし、後期後葉までの土器も若干含む。第19図1～9、11は堀之内1式、10、12～14は堀之内2式、第20図15～20は加曾利B式、21、22は曾谷～安行1式である。大部分は破片資料であり、復元できるものは第19図4のみである。

I-2段階になると堀之内1式土器を主体とし、堀之内2式も見られるようになる。堀之内1式土器はいわゆる古段階のものは少なく中～新段階のものが主体となる。第20図23～第22図35は堀之内1式である。第22図36～第24図49は堀之内2式と考えられる。第24図50～54は加曾利B式である。55、56は後・晩期安行式と考えられる。

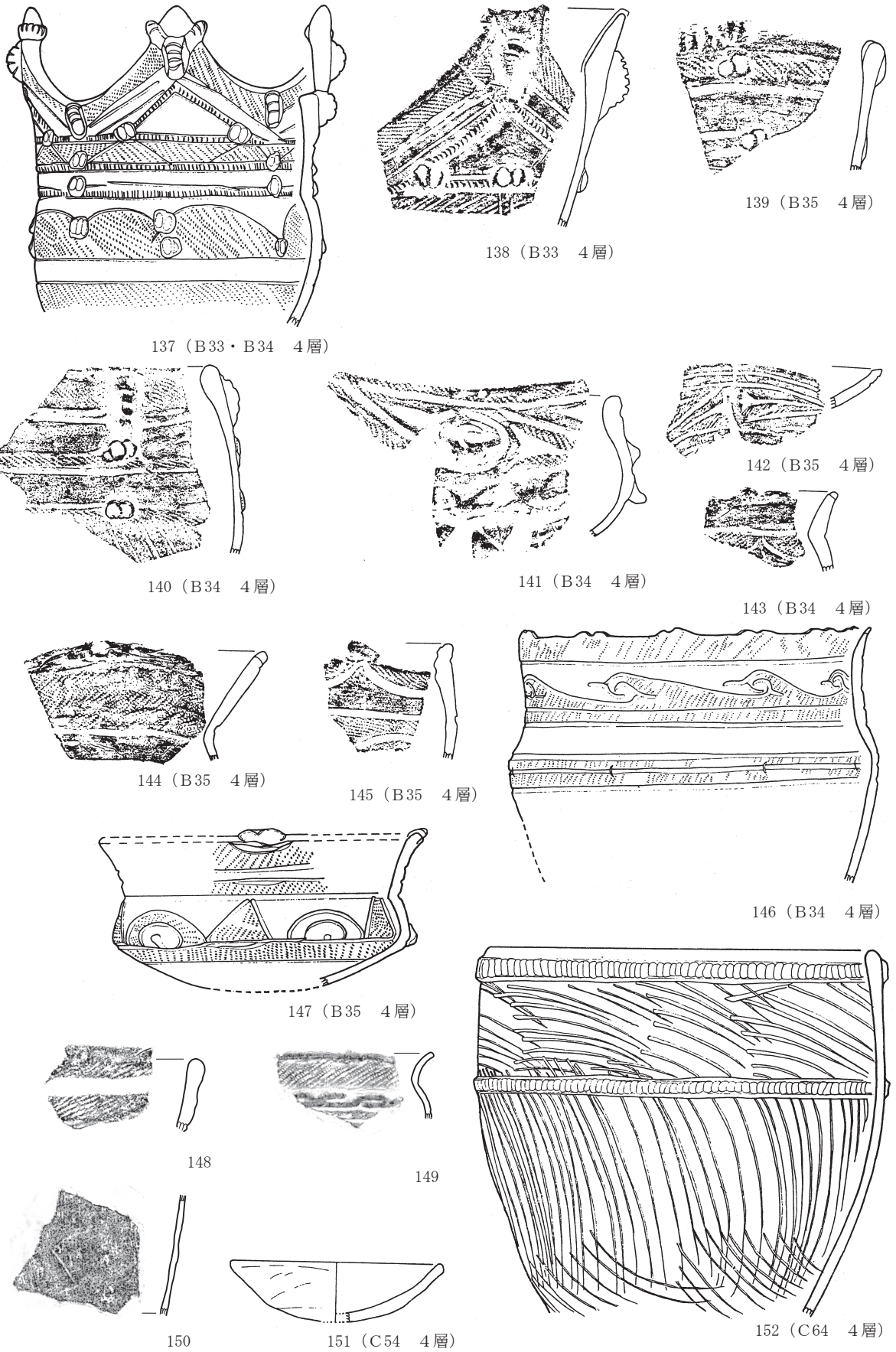
Ⅱ段階は後期前葉～中葉の土器が混在する傾向にあるが、一部第26図76のように安行1式土器の復元可能な個体も含まれる。(次ページ56ページへ)

IV-1 段階①



第31図 第1次調査出土土器 (13)

IV-1 段階②



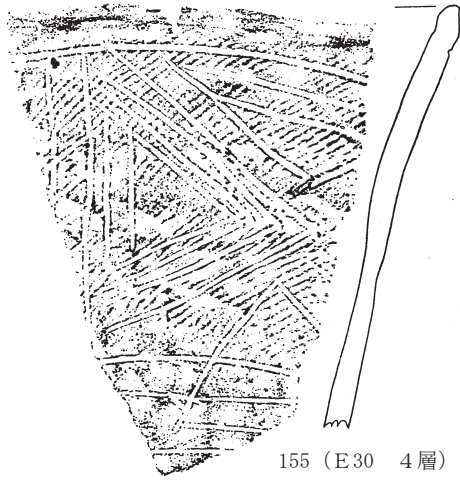
(No.137・146・147・151・152)
 0 (1:4) 10cm
 0 (1:3) 10cm

第32図 第1次調査出土土器 (14)

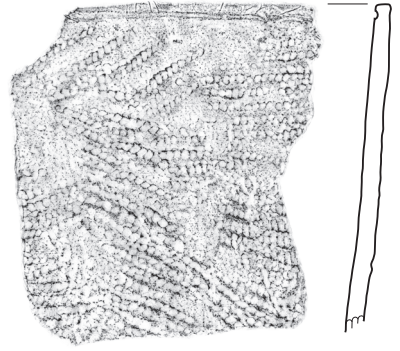
IV-2 段階①



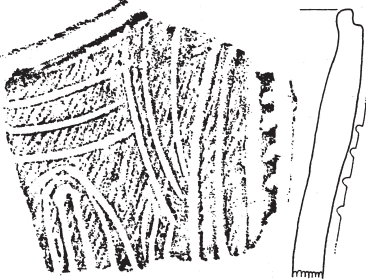
153 (C64 3層)



155 (E30 4層)



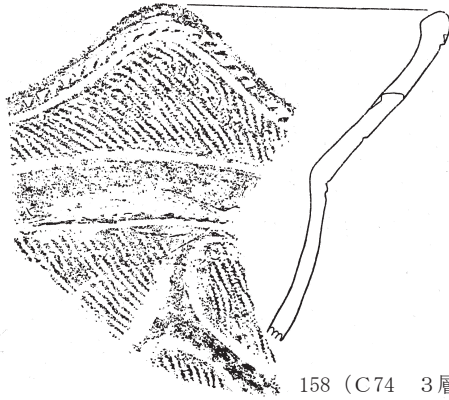
156 (C69 2層)



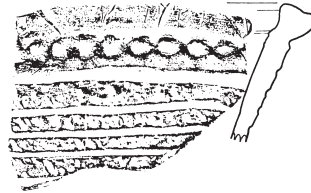
154 (E30 4層)



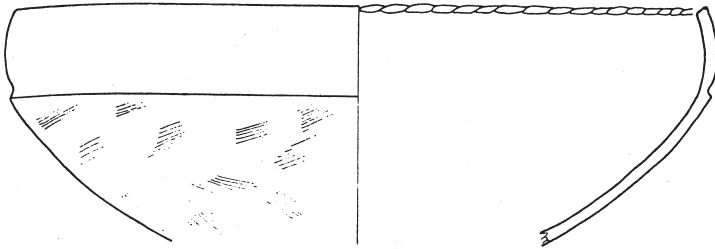
157 (D61 2層)



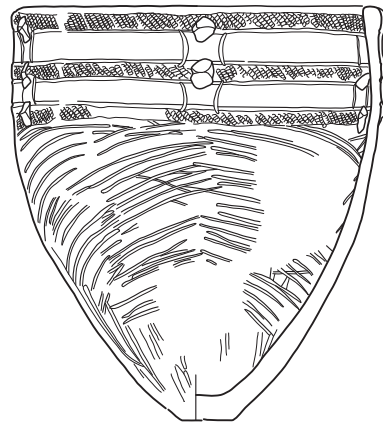
158 (C74 3層)



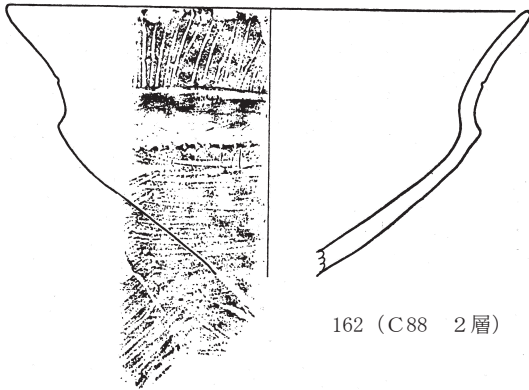
159 (B35 3層)



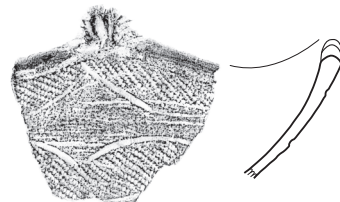
160 (C99 2層)



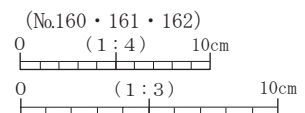
161 (C84 2層)



162 (C88 2層)

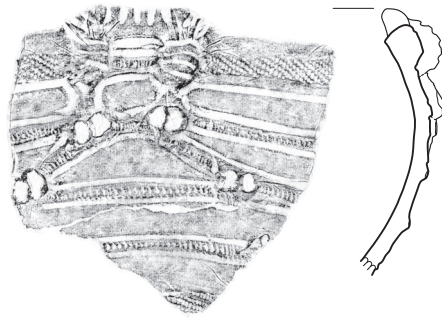


163 (C88 2層)



第33図 第1次調査出土土器 (15)

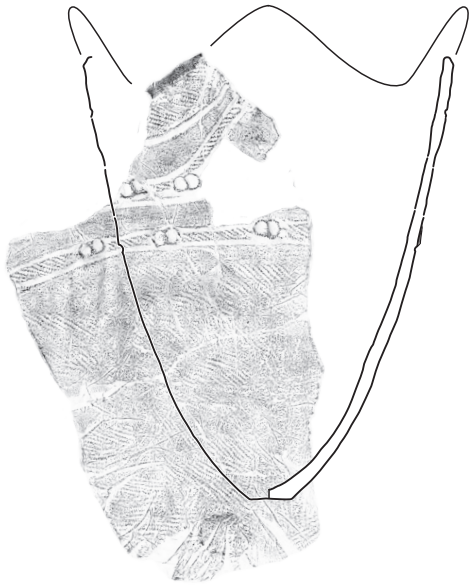
IV-2 段階②



164 (C69 2層)



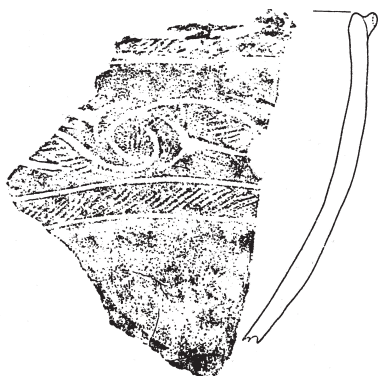
165 (D60 3層)



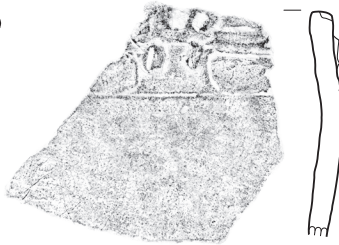
166 (C69 2層)



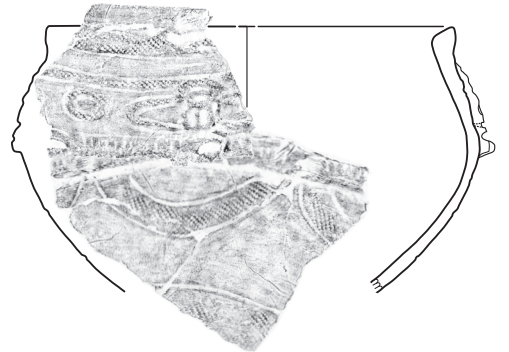
167 (C78 2層)



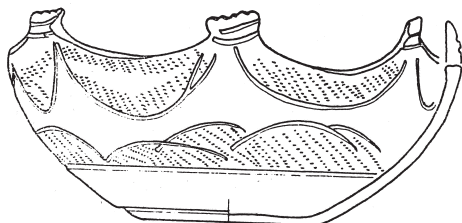
168 (D50 2層)



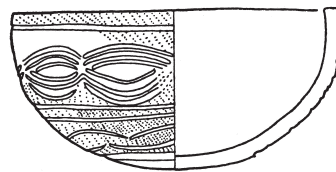
169 (C69 2層)



170 (C69 2層)



171 (B33 3層)



172 (B37 3層)



173 (C79 2層)



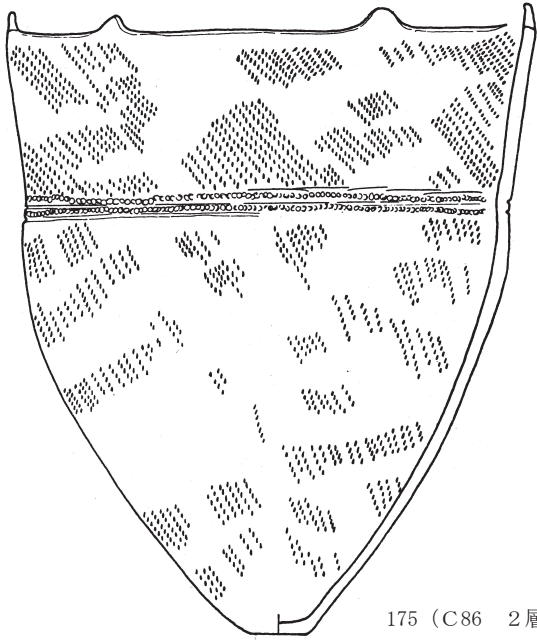
174 (D60 2層)

0 (1:4) 10cm

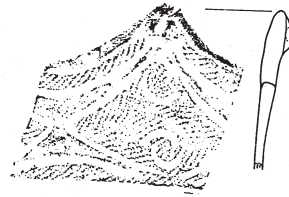
(No.164・165・167・168・169)
0 (1:3) 10cm

第34図 第1次調査出土土器 (16)

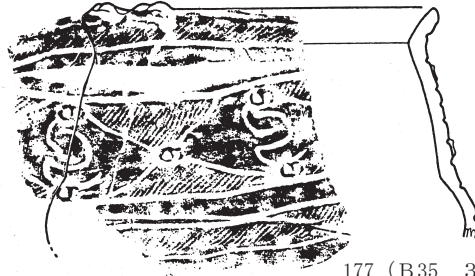
IV-2 段階③



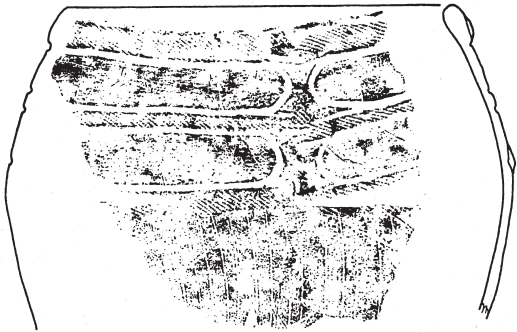
175 (C86 2層)



176 (B36 3層)



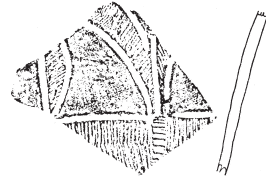
177 (B35 3層)



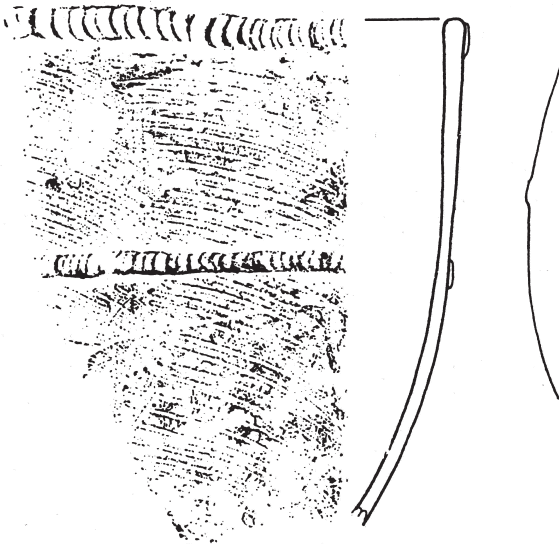
178 (B35 3層)



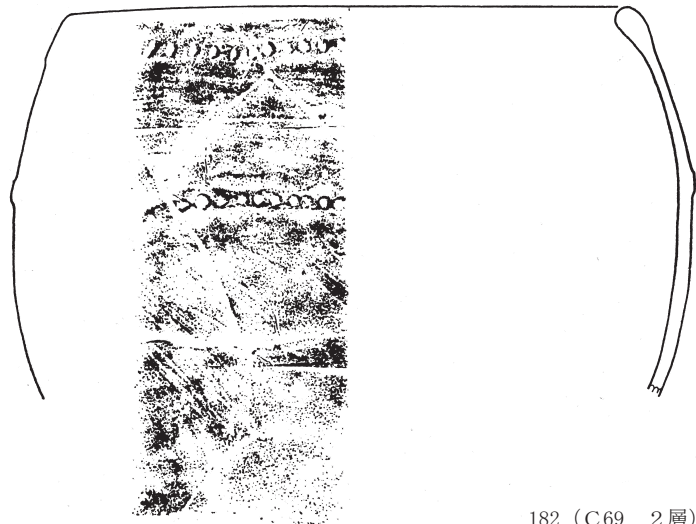
179 (B35 3層)



180 (B33 3層)



181 (C86 2層)



182 (C69 2層)

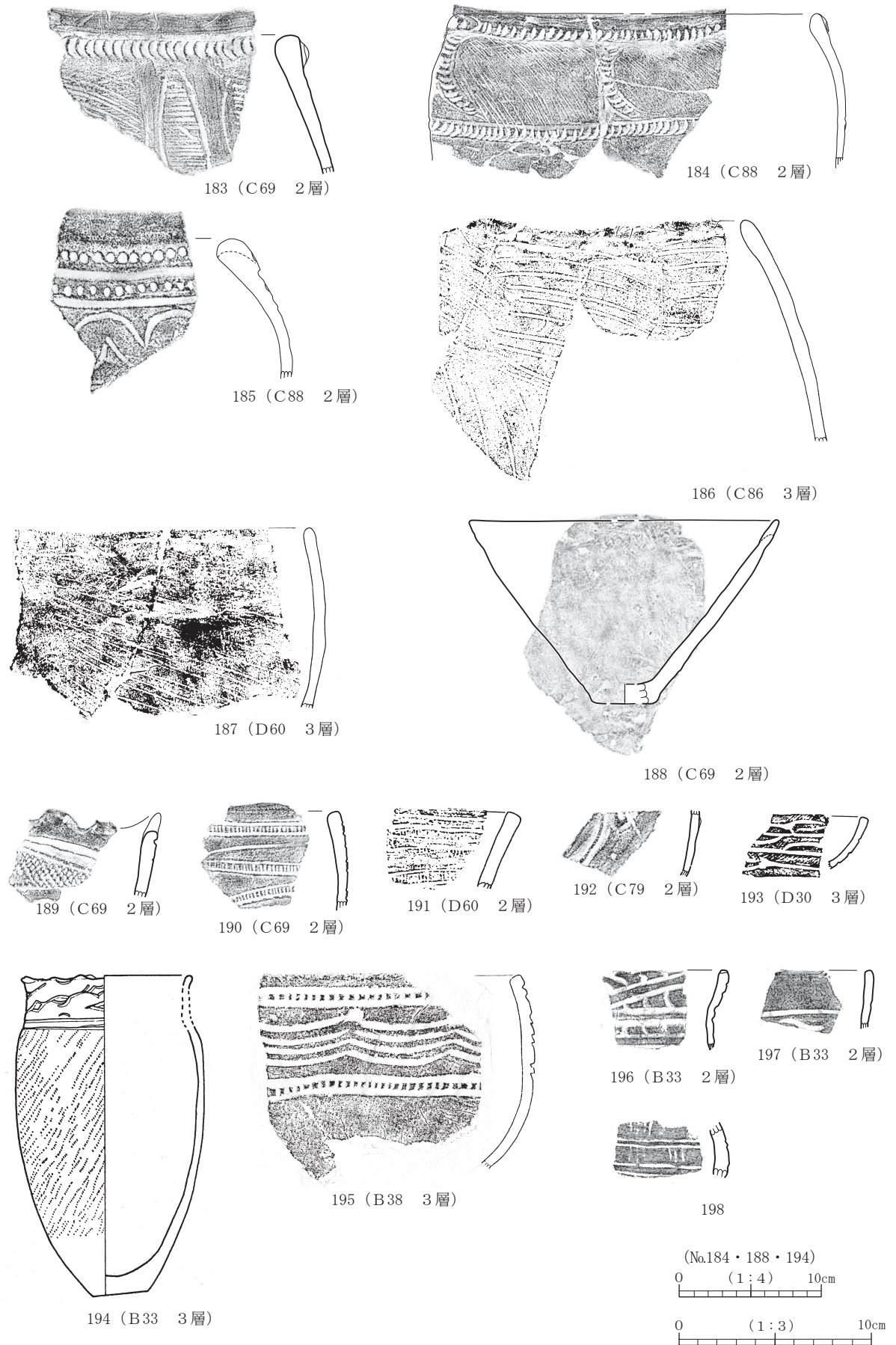
0 (1:4) 10cm

(No.176・179・180・181)

0 (1:3) 10cm

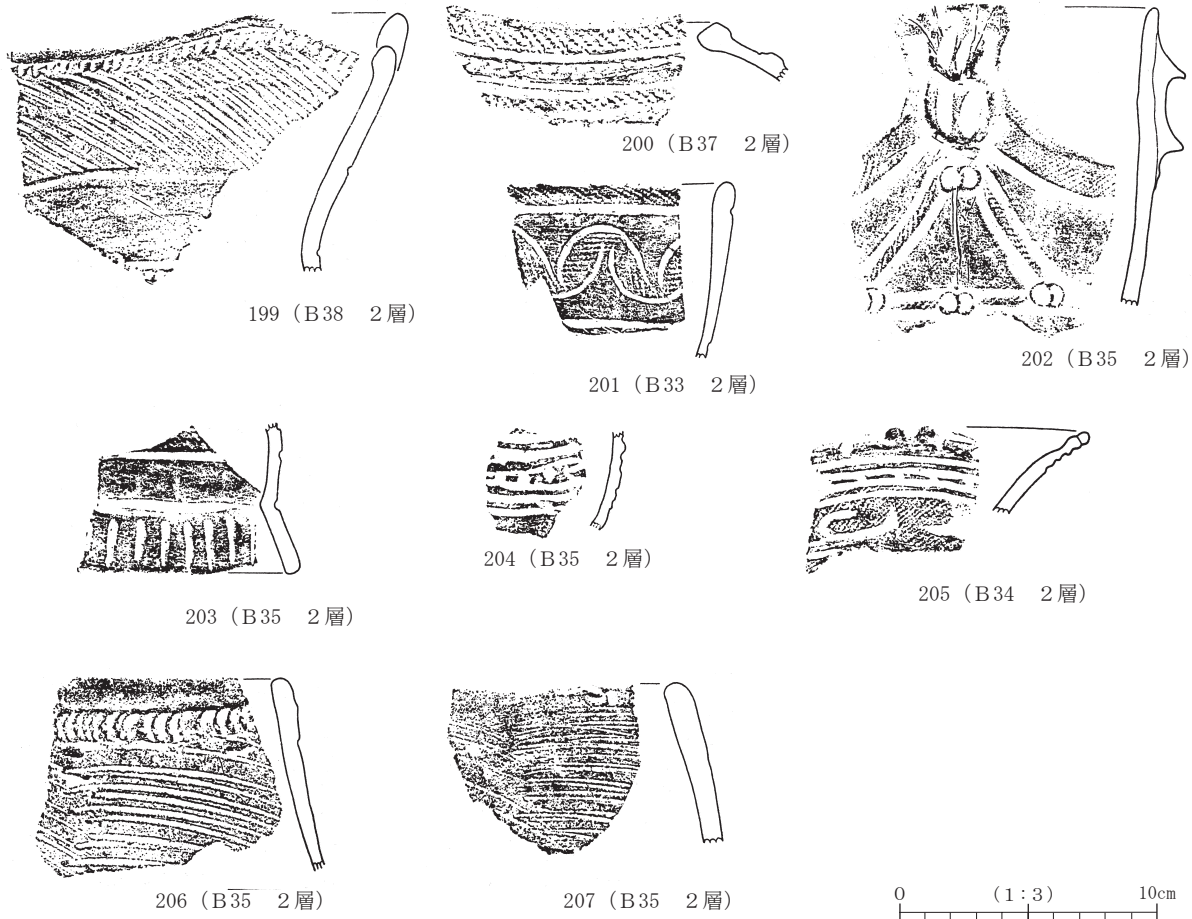
第35図 第1次調査出土土器 (17)

IV-2 段階④



第36図 第1次調査出土土器 (18)

V 段階



第37図 第1次調査出土土器 (19)

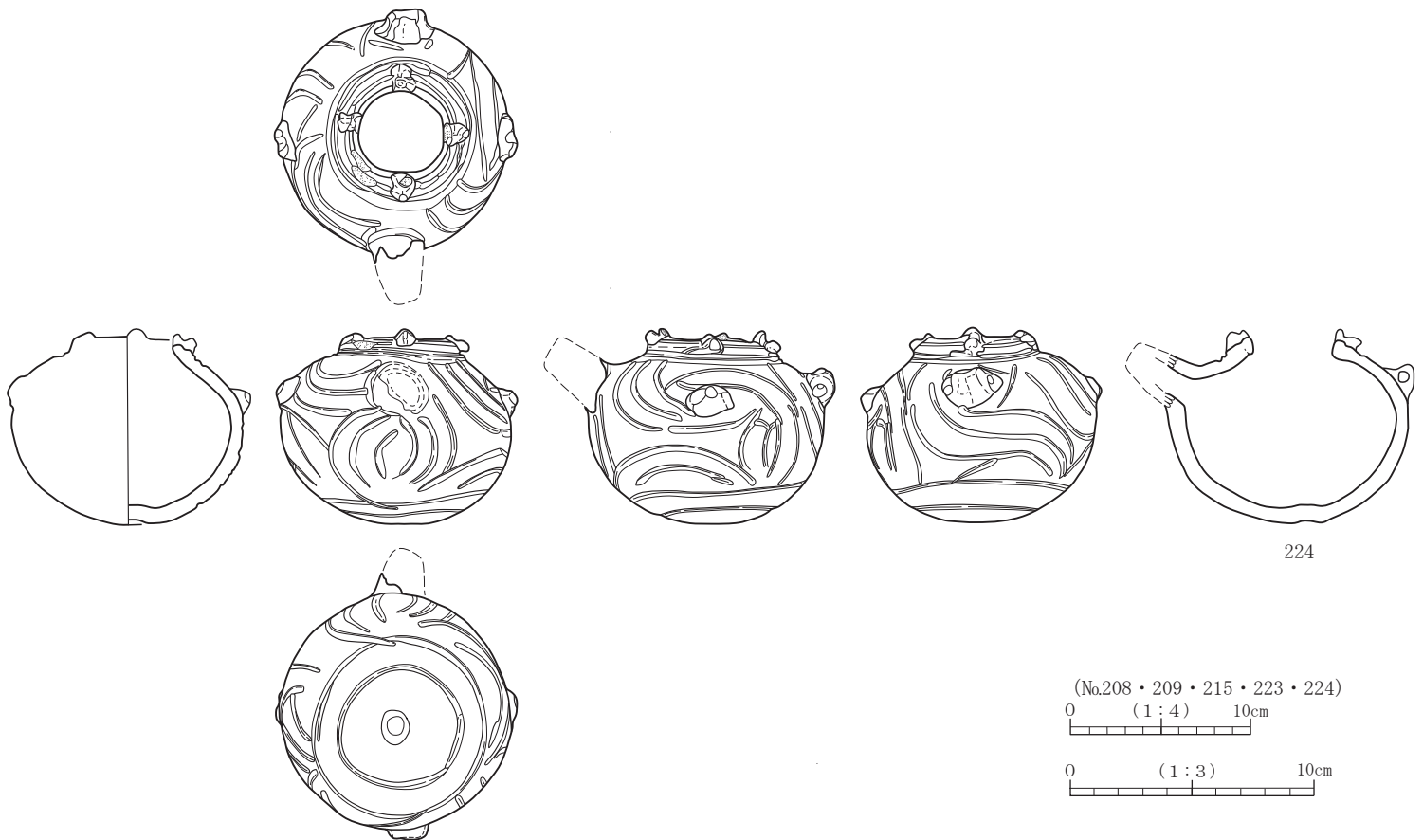
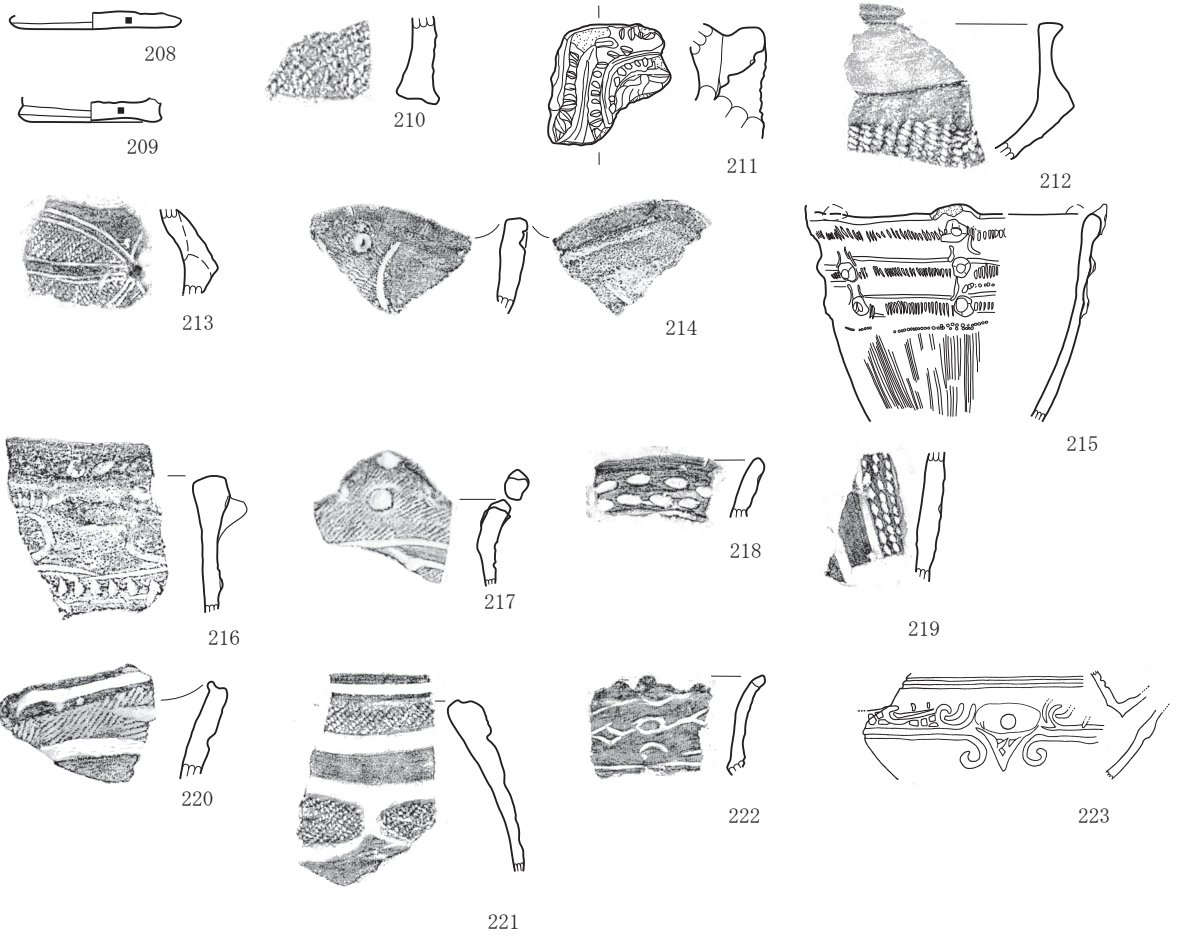
Ⅲ段階は後期中葉～後葉の土器が主体となる。第27図82は堀之内1式、83は堀之内2式である。84～第29図101は加曾利B式と考えられる。102、103は曾谷式、104、105は東北地方の瘤付土器の破片と考えられる。106～第30図108は安行1式、109～110は安行2式である。112、113は晩期の土器である。

Ⅳ-1段階は堀之内1式～安行3b式土器を含む。重量的には堀之内1式が多くなるが、晩期の遺存状況が良好な個体が多い傾向にある。第31図117～119、121～123は堀之内1式で、120は堀之内2式である。124～130は加曾利B式である。131は曾谷式と考えられる。132～134は安行1式と考えられる。135～第32図138は安行2式である。139～142は安行3a式と考えられる。143～147は安行3b式と考えられる。148は前浦直前形式と考えられる。149は大洞C1式と考えられる。150、151は無文土器である。152は後～晩期安行式に伴う粗製土器と考えられる。

Ⅳ-2段階は加曾利EⅣ式～前浦式が含まれる。後期中葉以降が主体となり、第1次調査範囲の中で晩期の土器が最も多く出土する。第33図153、154は堀之内1式、155、156は堀之内2式、157～160は加曾利B式である。161、162は安行1式である。163～第34図165は安行2式の浅鉢もしくは台付鉢である。166～第35図175は安行3a式と考えられる。176～180は安行3b式である。181～第36図187は後・晩期安行式に伴う粗製土器である。189～198は異系統と考えられる土器である。194、196は大洞BC式と考えられる。195は樞原式文様を有する浅鉢である。

V段階の出土遺物は、主にⅣ-2段階のローム質黄褐色土上に堆積する黒色土層から出土した遺物で、後

グリッド、層位不明



第38図 第1次調査出土土器 (20)